

## 議案第 9 号

木津川市研究開発地区建築条例等の一部改正について

木津川市研究開発地区建築条例等の一部を別紙のとおり改正する。

令和 2 年 2 月 2 8 日提出

木津川市長 河井 規子

### 提案理由

「建築基準法（昭和 2 5 年法律第 2 0 1 号）」及び「建築基準法施行令（昭和 2 5 年政令第 3 3 8 号）」の一部が改正されたこと等により、用語及び引用条項ずれ等の整理を要する箇所が生じているため、所要の改正を行うものです。

## 木津川市条例第 号

### 木津川市研究開発地区建築条例等の一部を改正する条例（案）

#### （木津川市研究開発地区建築条例の一部改正）

第1条 木津川市研究開発地区建築条例（平成19年木津川市条例第179号）の一部を次のように改正する。

第4条中「第48条第6項又は第10項」を「第48条第11項」に改める。

別表第2相楽リサーチパーク研究開発地区の欄中「身体障害者福祉ホーム」を「福祉ホーム」に改める。

#### （木津川市特別工業地区建築条例の一部改正）

第2条 木津川市特別工業地区建築条例（平成19年木津川市条例第180号）の一部を次のように改正する。

第3条中「第48条第5項及び第8項」を「第48条第5項及び第9項」に改める。

#### （木津川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正）

第3条 木津川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例（平成19年木津川市条例第181号）の一部を次のように改正する。

「かき」を「垣」に、「さく」を「柵」に改める。

別表第2木津川台地区整備計画区域の部住宅地ゾーン（A）の項クの欄中「宅地地盤面より高さ60センチメートル」を「宅地地盤面から高さ60センチメートル」に改め、同部住宅地ゾーン（B）の項アの欄中「身体障害者福祉ホーム」を「福祉ホーム」に、同項クの欄中「宅地地盤面より高さ60センチメートル」を「宅地地盤面から高さ60センチメートル」に改め、同部住宅地ゾーン（C）の項アの欄中「教会、その他」を「教会その他」に改め、同部住宅地ゾーン（D）の項キの欄中「道路境界線より1メートル」を「道路境界線から1メートル」に、「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「宅地地盤面より高さ60センチメートル」を「宅地地盤面から高さ60センチメートル」に改め、同部近隣

センターゾーン（E）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同部近隣センターゾーン（F）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同部文化学研究ゾーンの項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同表木津南地区整備計画区域の部一般住宅地ゾーンの項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部沿道型住宅地ゾーン（A）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部沿道型住宅地ゾーン（B）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部計画住宅地ゾーン（A）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部計画住宅地ゾーン（B）の項アの欄中「共同住宅（大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法に関する建設省都市局長通達（昭和51年4月1日建設省都再発第20号）I—2—（2）—②による共同住宅とする。）」を「共同住宅」に改め、同項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部近隣センターゾーンの項オの欄中「面する側にあつては1.5メートル」を「面する側にあつては、1.5メートル」に改め、同項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同部センターゾーンの項キの欄中「広告物は1事業所当たり5か所」を「広告物は、1事業所当たり5か所」に、「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同部文化学研究ゾーン（A）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同項クの欄中「距離は3メートル」を「距離は、3メートル」に、「地区計画図に示す部分については5メートル」を「地区計画図に示す部分については、5メートル」に、「1項の規定は低層」を「第1項の規定は、低層」に改め、同部文化学研究ゾーン（B）の項キの欄中「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同部地域交流施設ゾーンの項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同表木津中央地区整備

計画区域の部一般住宅地ゾーン（Ａ）の項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部一般住宅地ゾーン（Ｂ）の項アの欄中「掲げるもの。」を「掲げるもの」に改め、同項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部一般住宅地ゾーン（Ｃ）の項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部一般住宅地ゾーン（Ｄ）の項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部沿道型住宅地ゾーン（Ａ）の項キの欄中「駅前東線」を「木津駅前東線」に改め、同項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部沿道型住宅地ゾーン（Ｂ）の項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部共同住宅地ゾーンの項アの欄中「共同住宅（大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法に関する建設省都市局長通達（昭和５１年４月１日建設省都再発第２０号）Ⅰ－２－（２）－②による共同住宅とする。）」を「共同住宅」に改め、同項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部計画建設地ゾーン（Ａ）の項アの欄中「別表第二（ち）項」を「別表第二（り）項」に改め、同項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部計画建設地ゾーン（Ｂ）の項アの欄中「別表第二（ち）項」を「別表第二（り）項」に改め、同項クの欄中「宅盤面より６０センチメートル」を「宅盤面から６０センチメートル」に改め、同部文化学術研究ゾーンの項クの欄中「１項の規定」を「第１項の規定」に改め、同表相楽リサーチパーク地区整備計画区域の項キの欄中「道路境界線より３メートル」を「道路境界線から３メートル」に、「壁面より突出」を「壁面から突出」に改め、同表木津駅前地区整備計画区域の部中心商業ゾーンの項アの欄中「別表第２（ち）項」を「別表第２（り）項」に改め、同項クの欄を次のように改める。

計画図に示す宅地部分に垣又は柵を設置してはならない。

ただし、道路境界線から１メートル以上後退したものについてはこの限りでない。



別表第2 木津駅前地区整備計画区域の部周辺業務ゾーンの項ウの欄中「建ぺい率」を「建蔽率」に改め、同項クの欄を次のように改める。

道路に面した宅地部分に垣又は柵を設置する場合は、壁面の位置の制限以上後退するものとする。

別表第2 木津庁舎周辺地区整備計画区域の部A地区の項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同部B地区の項クの欄中「宅盤面より60センチメートル」を「宅盤面から60センチメートル」に改め、同表綺田北部地区整備計画区域の部準工業地区の項アの欄中「別表第2（ぬ）項」を「別表第2（る）項」に、「専修学校、その他」を「専修学校その他」に、「博物館、その他」を「博物館その他」に、「身体障害者福祉ホーム」を「福祉ホーム」に改め、同表国道沿道地区整備計画区域の部準工業地区の項アの欄中「別表第2（ぬ）項」を「別表第2（る）項」に、「専修学校、その他」を「専修学校その他」に、「博物館、その他」を「博物館その他」に、「身体障害者福祉ホーム」を「福祉ホーム」に改め、同項オの欄を次のように改める。

建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から道路境界線までの距離のうち、国道24号に面する部分の最低限度は、1.0mとする。

別表第2 国道沿道地区整備計画区域の部準工業地区の項クの欄を次のように改める。

塀を設ける場合は、国道24号に面する側の道路境界線との距離を1.0m以上とし、道路との間には植栽を施すものとする。

透視可能なネットフェンス、生垣を設ける場合には、この限りでない。

（木津川市特定大規模小売店舗制限地区建築条例の一部を改正する条例）

第4条 木津川市特定大規模小売店舗制限地区建築条例（平成20年木津川市条例第18号）の一部を次のように改正する。

第2条第2項中「別表第2（わ）項」を「別表第2（か）項」に改める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

参考資料（議案第9号）

木津川市研究開発地区建築条例等の一部を改正する条例（案）新旧対照表

木津川市研究開発地区建築条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表（第1条関係）

（新）

第1条～第3条 （略）

（建築物等の制限）

第4条 研究開発地区内においては、法第48条第11項の規定による規制のほか、別表第2に掲げる研究開発地区の種別に応じ、同表に掲げる用途に供する建築物を建築し、又は建築物の用途を同表に掲げる用途に変更してはならない。

第5条～第8条 （略）

別表第1 （略）

別表第2（第4条関係）

建築してはならない建築物			
（略）	相楽リサーチ パーク研究開 発地区	（略）	（略）

（旧）

第1条～第3条 （略）

（建築物等の制限）

第4条 研究開発地区内においては、法第48条第6項又は第10項の規定による規制のほか、別表第2に掲げる研究開発地区の種別に応じ、同表に掲げる用途に供する建築物を建築し、又は建築物の用途を同表に掲げる用途に変更してはならない。

第5条～第8条 （略）

別表第1 （略）

別表第2（第4条関係）

建築してはならない建築物			
（略）	相楽リサーチ パーク研究開 発地区	（略）	（略）

(略)	1～10 (略)	(略)	(略)
	11 老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するもの (保育所は除く。)		
	12～17 (略)		

(略)	1～10 (略)	(略)	(略)
	11 老人ホーム、身体障害者福祉ホームその他これらに類するもの (保育所は除く。)		
	12～17 (略)		

木津川市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表（第2条関係）

（新）

第1条・第2条 （略）

（建築の制限の緩和）

第3条 法第48条第5項及び第9項の規定にかかわらず、製茶業を営む工場で作業場の床面積の合計が400平方メートル以内で、かつ、使用する原動機の出力の合計が65キロワットを超えないものを建築することができる。

第4条～第8条 （略）

（旧）

第1条・第2条 （略）

（建築の制限の緩和）

第3条 法第48条第5項及び第8項の規定にかかわらず、製茶業を営む工場で作業場の床面積の合計が400平方メートル以内で、かつ、使用する原動機の出力の合計が65キロワットを超えないものを建築することができる。

第4条～第8条 （略）

木津川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表（第3条関係）

（新）

第1条～第9条（略）

（垣又は柵の構造の制限）

第10条 道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、別表第2の計画地区に応じ、それぞれ同表ク欄に掲げるとおりとする。

第11条～第15条（略）

別表第1（略）

別表第2（第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条、第9条、第10条関係）

地区計画 整備地区 計画区域 名称	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	建築してはな らない建築物	（ 略 ）	建築物の建築 面積の敷地面 積に対する割 合の最高限度	（ 略 ）	建築物の壁面 の位置の制限	（ 略 ）	建築物の形態 又は意匠の制 限	垣又は柵の構 造の制限

（旧）

第1条～第9条（略）

（かき又はさくの構造の制限）

第10条 道路に面する宅地部分のかき又はさくの構造は、別表第2の計画地区に応じ、それぞれ同表ク欄に掲げるとおりとする。

第11条～第15条（略）

別表第1（略）

別表第2（第3条、第4条、第5条、第6条、第7条、第8条、第9条、第10条関係）

地区計画 整備地区 計画区域 名称	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	建築してはな らない建築物	（ 略 ）	建築物の建築 面積の敷地面 積に対する割 合の最高限度	（ 略 ）	建築物の壁面 の位置の制限	（ 略 ）	建築物の形態 又は意匠の制 限	かき又はさく の構造の制限

名 称							
木 津 川 台 地 区 整 備 計 画 区 域	住 宅 地 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、宅地地盤 面から高さ6 0センチメー トル以下の腰 積みを併設す ることを妨げ ない。  (1) ~ (3)  (略)

名 称							
木 津 川 台 地 区 整 備 計 画 区 域	住 宅 地 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ くの構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、宅地地 盤面より高さ 60センチメ ートル以下の 腰積みを併設 することを妨 げない。  (1) ~ (3)  (略)

住 宅 地 ゾ ー ン ( B )	次に掲げ る建築物とす る。	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、 <u>宅地地盤</u> <u>面から高さ6</u> <u>0センチメー</u> <u>トル</u> 以下の腰 積みを併設す ることを妨げ ない。
	(1)～					(1)～
	(4)					(3)
	(略)					(略)
	(5)					
	老人ホ ーム、 <u>福祉ホ</u> <u>ーム</u> 、 老人福 祉セン ター、 児童厚 生施 設、保 育所					
	(6)～					

住 宅 地 ゾ ー ン ( B )	次に掲げ る建築物とす る。	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ くの構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、 <u>宅地地</u> <u>盤面より高さ</u> <u>60センチメ</u> <u>ートル</u> 以下の 腰積みを併設 することを妨 げない。
	(1)～					(1)～
	(4)					(3)
	(略)					(略)
	(5)					
	老人ホ ーム、 身体障 害者福 祉ホー ム、老 人福祉 センタ ー、児 童厚生 施設、 保育所					
	(6)～					

	(1 1) (略)					
住 宅 地 ゾ ー ン ( C )	次に掲げ る建築物とす る。 (1) 神社、 寺院、 教会そ の他に これらに 類する もの (2) ~ (4) (略)	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	(略)
住	(略)	( (略)	( (略)	( (略)	1・2	道路に面

	(1 1) (略)					
住 宅 地 ゾ ー ン ( C )	次に掲げ る建築物とす る。 (1) 神社、 寺院、 教会、 その他 これら に類す るもの (2) ~ (4) (略)	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	(略)
住	(略)	( (略)	( (略)	( (略)	1・2	道路に面



宅 地 ゾ ー ン ( D )	略 )	略 )	略 )	(略) 3 敷地内に 設置する ことがで きる広告 物は、木 津川市屋 外広告物 施行規則 (平成1 9年木津 川市規則 第113 号) 第7 条に定め る基準に 該当し、 かつ、次 の条件を すべて満	する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、 <u>宅地地盤</u> <u>面から高さ6</u> <u>0センチメー</u> <u>トル以下の腰</u> <u>積み</u> を併設す ることを妨げ ない。 (1) ~ (3) (略)	宅 地 ゾ ー ン ( D )	略 )	略 )	略 )	(略) 3 敷地内に 設置する ことがで きる広告 物は、木 津川市屋 外広告物 施行規則 (平成1 9年木津 川市規則 第113 号) 第7 条に定め る基準に 該当し、 かつ、次 の条件を すべて満	する宅地部分 の <u>かき又はさ</u> <u>く</u> の構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、 <u>宅地地</u> <u>盤面より高さ</u> <u>60センチメ</u> <u>ートル以下の</u> <u>腰積み</u> を併設 することを妨 げない。 (1) ~ (3) (略)
--------------------------------------	--------	--------	--------	--	--	--------------------------------------	--------	--------	--------	--	--

たすもの

とする。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 広告

塔、立看

板その他

これらに

類するも

のは道路

境界線か

ら1メー

トル以上

離すもの

とする。

(5) 建築

物の壁面

から突出

する広告

たすもの

とする。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 広告

塔、立看

板その他

これらに

類するも

のは道路

境界線よ

り1メー

トル以上

離すもの

とする。

(5) 建築

物の壁面

より突出

する広告

							物は、高さ10メートル以下の部分で1建物当たり1か所に限る。 (6) (略)								物は、高さ10メートル以下の部分で1建物当たり1か所に限る。 (6) (略)	
文 教 厚 生 ゾ ー ン ( G	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、次に掲げるものとする。  (1) ~  (3)  (略)	文 教 厚 生 ゾ ー ン ( G	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面する宅地部分のかき又はさくの構造は、次に掲げるものとする。  (1) ~  (3)  (略)

文教厚生ゾーン（H）	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、次に掲げるものとする。 (1)～ (3) (略)
近隣センターゾ	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告物は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基

文教厚生ゾーン（H）	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面する宅地部分のかき又はさくの構造は、次に掲げるものとする。 (1)～ (3) (略)
近隣センターゾ	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告物は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基

<p>ー ン （ E ）</p>				<p>準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。  （１）～  （３）  （略）  （４） 建築 物の壁面 から突出 する広告 物は、高 さ１０メ ートル以 下の部分 に限る。  （５）  （略）</p>			<p>ー ン （ E ）</p>			<p>準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。  （１）～  （３）  （略）  （４） 建築 物の壁面 より突出 する広告 物は、高 さ１０メ ートル以 下の部分 に限る。  （５）  （略）</p>	
----------------------------------	--	--	--	---	--	--	----------------------------------	--	--	---	--

近 隣 セ ン タ ー ゾ ー ン ( F )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3) (略) (4) 建築 物の壁面 から突出 する広告 物は、高	(略)
--	-----	-------------	-----	-------------	-------------	---	-----

近 隣 セ ン タ ー ゾ ー ン ( F )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3) (略) (4) 建築 物の壁面 より突出 する広告 物は、高	(略)
--	-----	-------------	-----	-------------	-------------	---	-----

						さ10メートル以下の部分に限る。 (5) (略)									さ10メートル以下の部分に限る。 (5) (略)	
文化学術研究ゾーン	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。 (1)～	道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、次の各号のいずれにも該当しないものとする。 (1)～ (4) (略)		文化学術研究ゾーン	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。 (1)～	道路に面する宅地部分のかき又はさくの構造は、次の各号のいずれにも該当しないものとする。 (1)～ (4) (略)

							(3) (略) (4) 建築 物の壁面 から突出 しないも の (5) (略)								(3) (略) (4) 建築 物の壁面 より突出 しないも の (5) (略)		
木 津 南 地 区 整 備 計 画	一 般 住 宅 地 ゾ ー ン	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、 <u>宅盤面</u> か <u>ら60センチ</u> <u>メートル以下</u> の腰積みを、	木 津 南 地 区 整 備 計 画	一 般 住 宅 地 ゾ ー ン	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の <u>かき又はさ</u> <u>く</u> の構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、 <u>宅盤面</u> <u>より60セン</u> <u>チメートル以</u> 下の腰積み





							と調和 した良 好な意 匠のも の									境と調 和した 良好な 意匠の もの
沿 道 型 住 宅 地 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、 <u>宅盤面か ら60センチ メートル以下</u> の腰積みを、 <u>垣又は柵</u> を支 えるために併 設することを 妨げない。	沿 道 型 住 宅 地 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3)	道路に面 する宅地部分 の <u>かき又はさ く</u> の構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、 <u>宅盤面 より60セン チメートル以 下</u> の腰積み を、 <u>かき又は さく</u> を支える ために併設す ることを妨げ



							の								もの
沿道型住宅地ゾーン(B)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。 (1) ～ (3) (略) (4) 建築物の壁面から突出	道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、次に掲げるものとする。ただし、宅盤面から60センチメートル以下の腰積みを、垣又は柵を支えるために併設することを妨げない。  (1) ～ (3) (略)	沿道型住宅地ゾーン(B)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。 (1) ～ (3) (略) (4) 建築物の壁面より突出	道路に面する宅地部分のかき又はさくの構造は、次に掲げるものとする。ただし、宅盤面より60センチメートル以下の腰積みを、かき又はさくを支えるために併設することを妨げない。  (1) ～ (3) (略)

						する広告 物は、高 さ10メ ートル以 下の部分 で1建築 物当たり 1か所と する。 (5) (略)	(4) 道路境 界線か ら50 センチ メート ル以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の								する広告 物は、高 さ10メ ートル以 下の部分 で1建築 物当たり 1か所と する。 (5) (略)	(4) 道路境 界線か ら50 センチ メート ル以上 後退し たかき 又はさ ぐで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
計 画	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に 設置すること	道路に面 する宅地部分	計 画	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に 設置すること	道路に面 する宅地部分	

住宅地ゾーン (A)

)

)

)

ができる広告物は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 建築物の壁面から突出する広告物は、高さ10メートル以

の垣又は柵の構造は、次に掲げるものとする。ただし、宅盤面から60センチメートル以下の腰積みを、垣又は柵を支えるために併設することを妨げない。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 道路境界線から50

住宅地ゾーン (A)

)

)

)

ができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 建築物の壁面より突出する広告は、高さ10メートル以

のかき又はさくの構造は、次に掲げるものとする。ただし、宅盤面より60センチメートル以下の腰積みを、かき又はさくを支えるために併設することを妨げない。

(1) ～

(3)

(略)

(4) 道路境界線から50

							下の部分 で1建築 物当たり 1か所と する。 (5) (略)	センチ メートル 以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の								下の部分 で1建築 物当たり 1か所と する。 (5) (略)	センチ メートル 以上 後退し たかき 又はさ ぐで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
計 画 住 宅 地 ゾ	次に掲げ る建築物以外 の建築物とす る。 (1) 共同住	( 略 )	(略)	( 略 )	( 略 )	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ	計 画 住 宅 地 ゾ	次に掲げ る建築物以外 の建築物とす る。 (1) 共同住	( 略 )	(略)	( 略 )	( 略 )	( 略 )	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ ぐの構造は、 次に掲げるも のとする。た

一 ン ( B )	宅	<p>条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。</p> <p>(1) ～</p> <p>(3)</p> <p>(略)</p> <p>(4) 建築物の壁面から突出する広告物は、高さ10メートル以下で1建築物当たり1か所とし、<u>宅盤面から60センチメートル以下</u>の腰積みを、<u>垣又は柵</u>を支えるために併設することを妨げない。</p> <p>(1) ～</p> <p>(3)</p> <p>(略)</p> <p>(4) 建築物の壁面から突出する広告物は、高さ10メートル以下で1建築物当たり1か所と</p>	<p>一 ン ( B )</p> <p>宅(大都市地域における住宅等の供給の促進に関する特別措置法に関する建設省都市局長通達(昭和51年4月1日建設省都再発第</p>	<p>条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。</p> <p>(1) ～</p> <p>(3)</p> <p>(略)</p> <p>(4) 建築物の壁面より突出する広告物は、高さ10メートル以下で1建築物当たり1か所と</p> <p>だし、<u>宅盤面より60センチメートル以下</u>の腰積みを、<u>かき又はさく</u>を支えるために併設することを妨げない。</p> <p>(1) ～</p> <p>(3)</p> <p>(略)</p> <p>(4) 道路境界線から50センチメートル以上後退し</p>
-----------------------	---	--	---	---



	(2)	(略)				する。 (5) (略)	た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の							する。 (5) (略)	たかき 又はさ ぐで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
近隣センターゾー	(略)	(略)	(略)	(略)	1 外壁等の面から敷地境界線までの距離は、1メートル以上とする。ただ	(略)	(略)	近隣センターゾー	(略)	(略)	(略)	1 外壁等の面から敷地境界線までの距離は、1メートル以上とする。ただ	(略)	(略)	(略)

ン					し、都市 計画道路 東中央 線・木津 東西線・ 松谷線に 面する側 にあつて は、 <u>1. 5</u> <u>メートル</u> 以上と する。 2 (略)	かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3) (略) (4) 建築 物の壁面 から突出 する広告 物は、高 さ10メ ートル以 下の部分 に限る。 (5) (略)		
セ	(略)	(	(略)	(	(略)	(	敷地内に	(略)

ン					し、都市 計画道路 東中央 線・木津 東西線・ 松谷線に 面する側 にあつて は、 <u>1. 5</u> <u>メートル</u> 以上とす る。 2 (略)	かつ、次の条 件をすべて満 たすものとす る。 (1) ~ (3) (略) (4) 建築 物の壁面 より突出 する広告 物は、高 さ10メ ートル以 下の部分 に限る。 (5) (略)		
セ	(略)	(	(略)	(	(略)	(	敷地内に	(略)

	ン タ ー ゾ ー ン		略 )		略 )		略 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとし る。  (1) ・  (2)  (略)  (3) 建築 物の外壁 に設置す る広告物 は、1事 業所当た			ン タ ー ゾ ー ン		略 )		略 )		略 設置すること ができる広告 物は、木津川 市屋外広告物 施行規則第7 条に定める基 準に該当し、 かつ、次の条 件をすべて満 たすものとし る。  (1) ・  (2)  (略)  (3) 建築 物の外壁 に設置す る広告物 は、1事業 所当たり	
--	----------------------------	--	--------	--	--------	--	--	--	--	----------------------------	--	--------	--	--------	--	---	--

り5か所  
以内とな  
ること。

(4) 建築  
物の壁面  
から突出  
する広告  
物は、高  
さ10メ  
ートル以  
下の部分  
に限る。

(5)  
(略)

5か所以  
内となる  
こと。

(4) 建築  
物の壁面  
より突出  
する広告  
物は、高  
さ10メ  
ートル以  
下の部分  
に限る。

(5)  
(略)

文  
化  
学  
術  
研

(略)

(  
略  
)

(略)

(  
略  
)

(略)

(  
略  
)

敷地内に  
設置すること  
ができる広告  
物は、木津川  
市屋外広告物

1 門の前面  
から敷地  
境界線ま  
での距離  
は、3メ

文  
化  
学  
術  
研

(略)

(  
略  
)

(略)

(  
略  
)

(略)

(  
略  
)

敷地内に  
設置すること  
ができる広告  
物は、木津川  
市屋外広告物

1 門の前面  
から敷地  
境界線ま  
での距離  
は3メー

究  
ゾ  
ー  
ン  
(  
A  
)

施行規則第7  
条に定める基  
準に該当し、  
かつ、次の条  
件をすべて満  
たすものとす  
る。

(1) ~

(3)

(略)

(4) 建築

物の壁面

から突出

しないも

の

(5)

(略)

メートル以

上とす

る。ただ

し、地区

計画図に

示す部分

について

は、5メ

ートル以

上とす

る。

2 (略)

3 第1項の

規定は、

低層かつ

地域文化

の向上等

に資する

施設部分

で、特に

究  
ゾ  
ー  
ン  
(  
A  
)

施行規則第7  
条に定める基  
準に該当し、  
かつ、次の条  
件をすべて満  
たすものとす  
る。

(1) ~

(3)

(略)

(4) 建築

物の壁面

より突出

しないも

の

(5)

(略)

メートル以上

とする。

ただし、

地区計画

図に示す

部分につ

いては5

メートル

以上とす

る。

2 (略)

3 1項の規

定は低層

かつ地域

文化の向

向上等に資

する施設

部分で、

特に市長

							市長が必要と認める場合は適用しない。									が必要と認める場合は適用しない。
文 化 学 術 研 究 ゾ ー ン （ B ）	（略）	（略）	（略）	（略）	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。  （1）～  （3）	（略）		文 化 学 術 研 究 ゾ ー ン （ B ）	（略）	（略）	（略）	（略）	敷地内に設置することができる広告は、木津川市屋外広告物施行規則第7条に定める基準に該当し、かつ、次の条件をすべて満たすものとする。  （1）～  （3）	（略）		

[illegible]

えるために併  
設することを  
妨げない。

(1) ～

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

センチ

メートル

ル以上

後退し

た垣又

は柵

で、周

辺環境

と調和

さくを支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。

(1) ～

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

センチ

メートル

ル以上

後退し

たかき

又はさ

くで、

周辺環

境と調



								した良 好な意 匠のも の									和した 良好な 意匠の もの
木 津 中 央 地 区 整 備 計 画 区 域	一 般 住 宅 地 区 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次の 各号に掲げる ものとする。  ただし、 <u>宅盤面から6 0センチメー トル以下の腰 積み</u> を、垣又 は柵を支える ために併設す ることを妨げ ない。	木 津 中 央 地 区 整 備 計 画 区 域	一 般 住 宅 地 区 ゾ ー ン ( A )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の <u>かき</u> 又は <u>さ く</u> の構造は、 次の各号に掲 げるものとし る。  ただし、 <u>宅盤面より6 0センチメー トル以下の腰 積み</u> を、 <u>かき 又はさく</u> を支 えるために併 設することを

妨げない。

(1) ～

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

センチ

メートル

ル以上

後退し

たかき

又はさ

ぐで、

周辺環

境と調

和した

良好な

意匠の

(1) ～

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

センチ

メートル

ル以上

後退し

た垣又

は柵

で、周

辺環境

と調和

した良

好な意

匠のも

							の								もの
一	次に掲げ	(	(略)	(	(略)	(	道路に面	一	次に掲げ	(	(略)	(	(略)	(	道路に面
般	る建築物以外	略		略		略	する宅地部分	般	る建築物以外	略		略		略	する宅地部分
住	の建築物とす	)		)		)	の垣又は柵の	住	の建築物とす	)		)		)	のかき又はさ
宅	る。						構造は、次の	宅	る。						くの構造は、
地	1 法別表第						各号に掲げる	地	1 法別表第						次の各号に掲
ゾ	二 (い)						ものとする。	ゾ	二 (い)						げるものとし
一	項に掲げ						ただし、	一	項に掲げ						る。
ン	るもの						<u>宅盤面から6</u>	ン	るもの。						ただし、
(	2 本ゾーン						<u>0センチメー</u>	(	2 本ゾーン						<u>宅盤面より6</u>
B	内の農業						<u>トル以下の腰</u>	B	内の農業						<u>0センチメー</u>
)	の用に供						積み、垣又	)	の用に供						<u>トル以下の腰</u>
	する敷地						は柵を支える		する敷地						積み、 <u>かき</u>
	内の施設						ために併設す		内の施設						又は <u>さく</u> を支
	で次の各						ることを妨げ		で次の各						えるために併
	号に掲げ						ない。		号に掲げ						設することを
	<u>るもの</u>								<u>るもの。</u>						妨げない。
	(1) ~						(1) ~		(1) ~						(1) ~
	(5)						(3)		(5)						(3)

	(略)					(略)	(4) 道路境界線から50センチメートル以上後退した垣又は柵で、周辺環境と調和した良好な意匠のもの						(略)	(4) 道路境界線から50センチメートル以上後退したかき又はさくで、周辺環境と調和した良好な意匠のもの		
一	(略)	(	(略)	(	(略)	(	道路に面	一	(略)	(	(略)	(	(略)	(	(略)	道路に面

般 住 宅 地 ゾ ー ン ( C )	略 )	略 )	略 )	<p>する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次の 各号に掲げる ものとする。</p> <p>ただし、 宅盤面から6 0センチメー トル以下の腰 積みを、垣又 は柵を支える ために併設す ることを妨げ ない。</p> <p>(1) ~ (3) (略) (4) 道路境</p>	般 住 宅 地 ゾ ー ン ( C )	略 )	略 )	略 )	<p>する宅地部分 のかき又はさ くの構造は、 次の各号に掲 げるものとし る。</p> <p>ただし、 宅盤面より6 0センチメー トル以下の腰 積みを、かき 又はさくを支 えるために併 設することを 妨げない。</p> <p>(1) ~ (3) (略) (4) 道路境</p>
--	--------	--------	--------	---	--	--------	--------	--------	--

								界線か ら50 センチ メート ル以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の									界線か ら50 センチ メート ル以上 後退し たかき 又はさ くで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
一 般 住 宅	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次の	一 般 住 宅	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ くの構造は、

地  
ゾ  
ー  
ン  
(  
D  
)

各号に掲げる  
ものとする。  
ただし、宅盤  
面から60セ  
ンチメートル  
以下の腰積み  
を、垣又は塙  
を支えるため  
に併設するこ  
とを妨げな  
い。

(1) ~

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

550

センチ

メート

ゾーン (D)

次の各号に掲げるものとす  
る。ただし、宅盤面より6  
0センチメー  
トル以下の腰  
積みを、かき  
又はさくを支  
えるために併  
設することを  
妨げない。

(1) ~

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

550

センチ

メート

							ル以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の									ル以上 後退し たかき 又はさ ぐで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
沿 道 型 住 宅 地 ゾ ー	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、規則第 7条に定める 基準に該当 し、かつ、次 の各号の条件	1 道路に面 する宅地 部分の垣 又は柵の 構造は、 次の各号 に掲げる ものとす	沿 道 型 住 宅 地 ゾ ー	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	敷地内に 設置すること ができる広告 物は、規則第 7条に定める 基準に該当 し、かつ、次 の各号の条件	1 道路に面 する宅地 部分のか き又はさ ぐの構造 は、次の 各号に掲 げるもの	



ン	をすべて満た	る。	ン	をすべて満た	とする。
(	すものとす	ただ	(	すものとす	ただ
A	る。	し、宅盤	A	る。	し、宅盤
)	(1) ~	面から6	)	(1) ~	面より6
	(6)	0センチ		(6)	0センチ
	(略)	メートル		(略)	メートル
	(7) 広告	以下の腰		(7) 広告	以下の腰
	物の設置	積み、		物の設置	積み、
	場所は、	垣又は柵		場所は、	かき又は
	都市計画	を支える		都市計画	さくを支
	道路東中	ために併		道路東中	えるため
	央線・本	設するこ		央線・駅	に併設す
	津駅前東	とを妨げ		前東線・	ることを
	線・天神	ない。		天神山	妨げな
	山線・大			線・大池	い。
	池線・公	(1) ~		線・公園	(1) ~
	園通り線	(3)		通り線に	(3)
	に面する	(略)		面する側	(略)
	側に限る	(4)		に限る	(4)
		道路境			道路境

								界線か ら50 センチ メートル以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の 2 (略)									界線か ら50 センチ メートル以上 後退し たかき 又はさ くで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの 2 (略)
沿 道 型	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の		沿 道 型	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ	

住  
宅  
地  
ゾ  
ー  
ン  
(  
B  
)

構造は、次の  
各号に掲げる  
ものとする。  
ただし、  
宅盤面から6  
0センチメー  
トル以下の腰  
積み、垣又  
は柵を支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。

(1) ~

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

住  
宅  
地  
ゾ  
ー  
ン  
(  
B  
)

くの構造は、  
次の各号に掲  
げるものとす  
る。  
ただし、  
宅盤面より6  
0センチメー  
トル以下の腰  
積み、かき  
又はさくを支  
えるために併  
設することを  
妨げない。

(1) ~

(3)

(略)

(4)

道路境

界線か

ら50

							センチ メートル以上 後退した垣又は柵 で、周辺環境と調和した良 好な意匠のもの									センチ メートル以上 後退したかき 又はさぐで、 周辺環境と調和した 良好な意匠の もの
共同住宅地ゾ	次に掲げる建築物以外の建築物とする。 1 共同住宅	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面する宅地部分の垣又は柵の構造は、次の各号に掲げるものとする。	共同住宅地ゾ	次に掲げる建築物以外の建築物とする。 1 共同住宅 (大都市	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面する宅地部分のかき又はさぐの構造は、次の各号に掲げるものとす			

ただし、  
宅盤面から6  
0センチメー  
トル以下の腰  
積み、垣又  
は櫃を支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。

ル以上

地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法に関する建設省都市局長通達（昭和51年4月1日建設省都再発第20号）Ⅰ  
— 2 —  
(2) —  
②による共同住宅とす

ただし、  
宅盤面より6  
0センチメー  
トル以下の腰  
積みを、かき  
又はさくを支  
えるために併  
設することを  
妨げない。

ル以上

	2 (略)							後退し た垣又 は 柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の									後退し たかき 又はさ ぐで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
計 画 建 設 地 ゾ ー ン (	次に掲げ る建築物とす る。 (1) ~ (6) (略) (7) 風俗営 業等の	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次の 各号に掲げる ものとする。  ただし、 <u>宅盤面から6 0センチメー</u>	計 画 建 設 地 ゾ ー ン (	次に掲げ る建築物とす る。 (1) ~ (6) (略) (7) 風俗営 業等の	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ ぐの構造は、 次の各号に掲 げるものとし る。  ただし、 <u>宅盤面より6</u>

A  
) 規制及  
び業務  
の適正  
化等に  
関する  
法律  
(昭和  
23年  
法律第  
122  
号) 第  
2条に  
該当す  
る営業  
にかか  
わる施  
設 (た  
だし、  
法別表  
第二

トル以下の腰  
積み、垣又  
は柵を支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。  
(1) ~  
(3)  
(略)  
(4)  
道路境  
界線か  
ら50  
センチ  
メートル以上  
後退し  
た垣又  
は柵

A  
) 規制及  
び業務  
の適正  
化等に  
関する  
法律  
(昭和  
23年  
法律第  
122  
号) 第  
2条に  
該当す  
る営業  
にかか  
わる施  
設 (た  
だし、  
法別表  
第二

0センチメー  
トル以下の腰  
積み、かき  
又はさくを支  
えるために併  
設することを  
妨げない。  
(1) ~  
(3)  
(略)  
(4)  
道路境  
界線か  
ら50  
センチ  
メートル以上  
後退し  
たかき  
又はさ

<div>(り)</div> <div>項第二 号及び 第三号 に掲げ るもの を除 く。)</div>							で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の	<div>(ち)</div> <div>項第二 号及び 第三号 に掲げ るもの を除 く。)</div>							くで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
計 画 建 設 地 ゾ ー ン ( B )	次に掲げ る建築物とす る。  (1) ~ (1 1) (略) (1 2) 風俗営 業等の 規制及	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次の 各号に掲げる ものとする。  ただし、 <u>宅盤面から6 0センチメー トル以下の腰 積み</u> を、垣又	計 画 建 設 地 ゾ ー ン ( B )	次に掲げ る建築物とす る。  (1) ~ (1 1) (略) (1 2) 風俗営 業等の 規制及	( 略 )	( 略 )	( 略 )	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の <u>かき又はさ くの構造</u> は、 次の各号に掲 げるものとし る。  ただし、 <u>宅盤面より6 0センチメー トル以下の腰</u>		



ひ業務  
の適正  
化等に  
関する  
法律  
(昭和  
23年  
法律第  
122  
号)第  
2条に  
該当す  
る営業  
にかか  
わる施  
設(た  
だし、  
法別表  
第二  
(り)

は柵を支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。  
(1) ~  
(3)  
(略)  
(4)  
道路境  
界線か  
ら50  
センチ  
メート  
ル以上  
後退し  
た垣又  
は柵  
で、周  
辺環境

ひ業務  
の適正  
化等に  
関する  
法律  
(昭和  
23年  
法律第  
122  
号)第  
2条に  
該当す  
る営業  
にかか  
わる施  
設(た  
だし、  
法別表  
第二  
(ち)

積み、かき  
又はさくを支  
えるために併  
設することを  
妨げない。  
(1) ~  
(3)  
(略)  
(4)  
道路境  
界線か  
ら50  
センチ  
メート  
ル以上  
後退し  
たかき  
又はさ  
くで、  
周辺環

	項第二 号及び 第三号 に掲げ るもの を除 く。)					と調和 した良 好な意 匠のも の		項第二 号及び 第三号 に掲げ るもの を除 く。)						境と調 和した 良好な 意匠の もの
( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	(略)		( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	(略)
文 化 学 術 研 究 ゾ ー	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	1・2  (略) 3 第1項の 規定は低 層、か つ、地域 文化の向 上等に資		文 化 学 術 研 究 ゾ ー	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	1・2  (略) 3 1項の規 定は低 層、か つ、地域 文化の向 上等に資



[illegible]

								路境界線 から3メ ートル以 上離し、 2か所以 内となる こと。 (5) 建築 物の壁面 から突出 しないも の (6) (略)	地との 間に生 垣を設 けるこ と。)								路境界線 より3メ ートル以 上離し、 2か所以 内となる こと。 (5) 建築 物の壁面 より突出 しないも の (6) (略)	共用地 との間 に生垣 を設け るこ と。)
木 津 駅 前	中 心 商 業 ゾ	次に掲げ る建築物とす る。 (1)・ (2)	( 略	(略)	( 略	(略)	( 略	計画図に示 す宅地部分に 垣又は柵を設 置してはなら ない。		木 津 駅 前	中 心 商 業 ゾ	次に掲げ る建築物とす る。 (1)・ (2)	( 略	(略)	( 略	(略)	( 略	二

地区整備計画区域	一	(略)						ただし、道路境界線から1メートル以上後退したものにについてはこの限りでない。	地区整備計画区域	一	(略)							
	ン	(3)	建築基準法別表第2(り)項第3号に掲げる個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類するもの							ン	(3)	建築基準法別表第2(ち)項第3号に掲げる個室付浴場業に係る公衆浴場その他これに類するもの						
	周辺	(略)	(略)建築物の各部分の地盤	(略)	(略)	(略)	(略)	道路に面した宅地部分に		周辺	(略)	(略)建築物の各部分の地盤	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	二

	業 務 ゾ ー ン		)	面からの高さ が15メー トルを超える敷 地における建 築物の建蔽率 の最高限度 は、50パー セントとす る。	)		)		<u>垣又は柵を設 置する場合 は、壁面の位 置の制限以上 後退するもの とする。</u>		業 務 ゾ ー ン		)	面からの高さ が15メー トルを超える敷 地における建 築物の建ぺい 率の最高限度 は、50パー セントとす る。	)		)		
木 津 庁 舎 周 辺 地 区 整	A 地 区	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、 <u>宅盤面か ら60センチ メートル以下 の腰積みを、</u>		木 津 庁 舎 周 辺 地 区 整	A 地 区	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	道路に面 する宅地部分 の <u>かき又はさ ぐ</u> の構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、 <u>宅盤面 より60セン チメートル以 下の腰積み</u>

備 計 画 区 域		垣又は柵を支 えるために併 設することを 妨げない。ま た、門につい ては、この限 りでない。	備 計 画 区 域		を、かき又は さくを支える ために併設す ることを妨げ ない。また、 門について は、この限り でない。
		(1)			(1)
		(略)			(略)
		(2)			(2)
		透視可 能な柵			透視可 能なさ
		(3)			(3)
		道路境 界線か ら50 センチ メートル			道路境 界線か ら50 センチ メートル



								ル以上 後退し た垣又 は柵 で、周 辺環境 と調和 した良 好な意 匠のも の									ル以上 後退し たかき 又はさ くで、 周辺環 境と調 和した 良好な 意匠の もの
B 地 区	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 の垣又は柵の 構造は、次に 掲げるものと する。ただ し、宅盤面か ら60センチ	B 地 区	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	( 略 )	(略)	道路に面 する宅地部分 のかき又はさ くの構造は、 次に掲げるも のとする。た だし、宅盤面 より60セン

メートル以下  
の腰積みを、  
垣又は柵を支  
えるために併  
設することを  
妨げない。ま  
た、門につい  
ては、この限  
りでない。

(1)

(略)

(2)

透視可

能な柵

(3)

道路境

界線か

ら50

チメートル以  
下の腰積み  
を、かき又は  
さくを支える  
ために併設す  
ることを妨げ  
ない。また、  
門について  
は、この限り  
でない。

(1)

(略)

(2)

透視可

能なさ

く

(3)

道路境

界線か

ら50





略	略		略	略	略		略	略	略	略	略	略	略		
)	)		)	)	)		)	)	)	)	)	)	)		
綺田北部地区整備計画区域	準工業地域	次に掲げる建築物とする。 (1) 法別表第2 (る) 項に掲げる建築物 (2) ・ (3) (略) (4) 専修学校その他これ	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	次に掲げる建築物とする。 (1) 法別表第2 (め) 項に掲げる建築物 (2) ・ (3) (略) (4) 専修学校その他これ	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

らに類  
するも  
の  
(5)  
図書  
館、博  
物館そ  
の他こ  
れらに  
類する  
もの  
(6)  
老人ホ  
ーム、  
福祉ホ  
ームそ  
の他こ  
れらに  
類する  
もの

れらに  
類する  
もの  
(5)  
図書  
館、博  
物館、  
その他  
これら  
に類す  
るもの  
(6)  
老人ホ  
ーム、  
身体障  
害者福  
祉ホー  
ムその  
他これ  
らに類



区 整 備 計 画 区 域	(る) 項に掲 げる建 築物 (2)・ (3) (略) (4) 専修学 校その 他これ らに類 するも の (5) 図書 館、博 物館そ の他こ れらに	<u>24号に面す る部分の最低 限度は、1. 0mとする。</u>	<u>上とし、道路 との間には植 栽を施すもの とする。 透視可能な ネットフェン ス、生垣を設 ける場合に は、この限り でない。</u>	区 整 備 計 画 区 域	(ぬ) 項に掲 げる建 築物 (2)・ (3) (略) (4) 専修学 校、そ の他こ れらに 類する もの (5) 図書 館、博 物館、 その他 これら	
---------------------------------	---	--	--	---------------------------------	--	--



	類する もの (6) 老人ホ ーム、 福祉ホ ームそ の他こ れらに 類する もの  (7) ~ (1 0) (略)								に類す るもの (6) 老人ホ ーム、 身体障 害者福 祉ホー ムその 他これ らに類 するも の (7) ~ (1 0) (略)						
	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

	)		)		)		)				)		)		)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
)	略	)	略	)	略	)	略	)		)	略	)	略	)	略	)		

木津川市特定大規模小売店舗制限地区建築条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表（第4条関係）

(新)	(旧)
第1条 (略)	第1条 (略)
(定義)	(定義)
第2条 (略)	第2条 (略)
2 この条例において「特定大規模小売店舗」とは、大規模小売店舗立地法（平成10年法律第91号）第2条第2項で定める大規模小売店舗であり、かつ、 <u>法別表第2（か）項</u> に掲げるものをいう。	2 この条例において「特定大規模小売店舗」とは、大規模小売店舗立地法（平成10年法律第91号）第2条第2項で定める大規模小売店舗であり、かつ、 <u>法別表第2（わ）項</u> に掲げるものをいう。
第3条～第6条 (略)	第3条～第6条 (略)

政策等の形成過程の説明資料

議 案 名	議案第 9 号 木津川市研究開発地区建築条例等の一部改正について	
担 当 課	都市計画課 都市計画係	
提 案 事 項 の 概 要 等 (必要性、効果等)	建築基準法(昭和25年法律第201号)及び建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)の一部が改正されたこと等により、用語及び引用条項ずれ等の整理を要する箇所が生じているため、所要の改正を行うものです。また、公用文としての文言修正も行います。	
提案に至るまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法及び建築基準法施行令の改正に伴う用語及び引用条項ずれの整理を要する箇所が生じていることが判明</li> <li>・木津川市都市計画審議会(令和元年8月5日)において当該整理について協議</li> <li>・関係機関(京都府都市計画課、文化学術研究都市推進課及び山城南土木事務所)との協議を実施</li> <li>・都市計画変更案に係る説明会、図書の縦覧</li> <li>・木津川市都市計画審議会(令和元年1月20日)において都市計画変更案の議決を受け、条例案を決定</li> </ul>	
市 民 参 加 の 状 況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	条例改正案の基となる都市計画変更案について <b>【特別用途地区の変更について】</b> ・都市計画法に基づく縦覧・意見申出 (令和元年12月13日から12月27日まで) <b>【地区計画の変更について】</b> ・木津川市地区計画等の案の作成手続に関する条例(平成19年木津川市条例第167号)に基づく縦覧・意見申出 (令和元年11月14日から11月28日まで) ・都市計画法に基づく縦覧・意見申出 (令和元年12月13日から12月27日まで)	
市総合計画の位置付け	基 本 方 針	6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり
	政 策 分 野	13 都市基盤
	施 策	① 都市環境 ア. 計画的な土地利用
概 算 事 業 費 ( 単 位 : 千 円 )	<input type="checkbox"/> 単年度(      年度) <input type="checkbox"/> 複数年(      年度)	
将来にわたる効果及び経費の状況	関係法令との整合を図ることで、より明確に行政指導が行えるようになります。	